

群馬県前橋市（まえばし）



人口減少社会において、都市のコンパクト化、公共交通の高度化・最適化に取り組んでおり、まちづくりの一環として、デジタル基盤整備をベースにした交通サービス「MaeMaaS（前橋版MaaS）」を推進。

全国初となるマイナンバーカードと交通系ICカードの連携・認証による属性に応じた運賃割引等や、利用しやすい移動環境構築の一環として、**独禁法特例法**を活用した、**県内バス事業者6社の協定締結・共同経営による利便増進計画**を市が支援して作成、**まちなかの幹線で等間隔運行を実現し、利用者が増加。**

（取組の概要）

1. 多様な主体の実質的参画

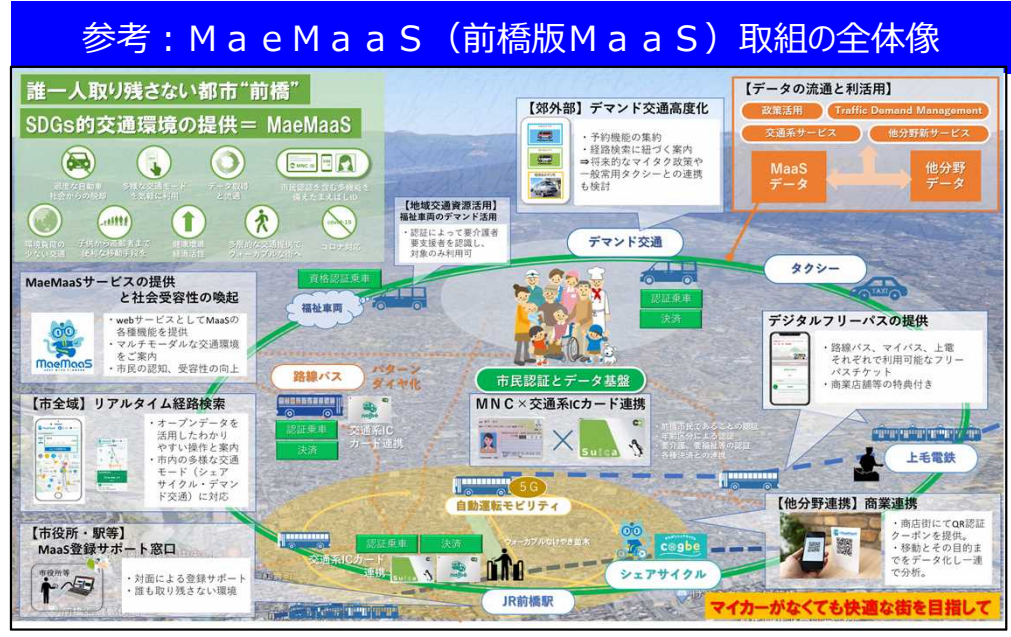
- MaeSの導入にあたって、利便増進による行動喚起のため、**商業分野等の他業種、異業種との協調・連携を実施。**
- 共同経営計画の策定にあたって、市が中心となり、群馬県、有識者及びバス事業者6社でワーキンググループを設け、最適なダイヤ設定に係る様々な調整を行い、**ダイヤ調整について合意形成。**

2. 創意工夫

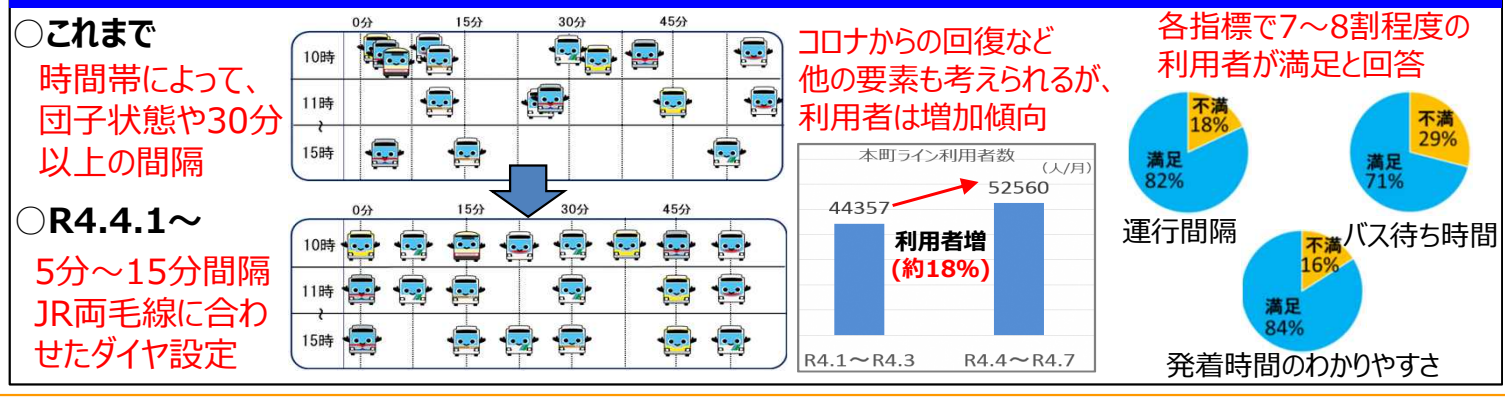
- MaeSの運用にあたって、**マイナンバーカードとの認証・連携を実現し、市民割引・敬老割引・障害者割引等、様々な運賃施策を実施するとともに、電子認証により、事務負担を軽減し、持続可能な運用体制を構築。**また、市民に取組を知ってもらうためマスコットキャラクターを作成し、周知活動を実施。
- 共同経営路線を含む市内全路線で、バス会社ごとに整理されていた**系統や路線名の表示を統一して再整理。**前橋駅や群馬県庁等にデジタルサイネージを設置したほか、**バスロケーションシステムの活用**や、わかりやすいバスマップの作成等、利便性を向上。

3. 自立性・継続性

- **群馬県と連携し、「MaeMaaS」の取り組みベースとして、群馬県版MaaS（GunMaaS）を構築、デジタル最先端技術を活用し、利用しやすい公共交通環境について、県内全域への展開を推進。**
- 市内全路線に交通系ICカードを導入、6社全体で**各種乗降データ**を見える化し、**路線再編・ダイヤ改正・運賃体系（定額制等）検討のためのシステムを構築、**今後更なる利便性向上を図る。加えて、**交通と他分野との連携事業にも取り組む。**



参考：6社共同経営計画に基づく等間隔運行（利便増進事業）



群馬県前橋市 (まえばし)

参考：6社共同経営計画に基づく等間隔運行（利便増進事業）

取組主体

関越交通、群馬バス、群馬中央バス、
上信観光バス、永井運輸、日本中央バス

計画期間

令和3年10月1日～
令和8年3月31日まで



全国3例目となる国土交通大臣認可

- 対象路線 6社11路線
- 時間帯 平日・土日祝日
10時～16時の間

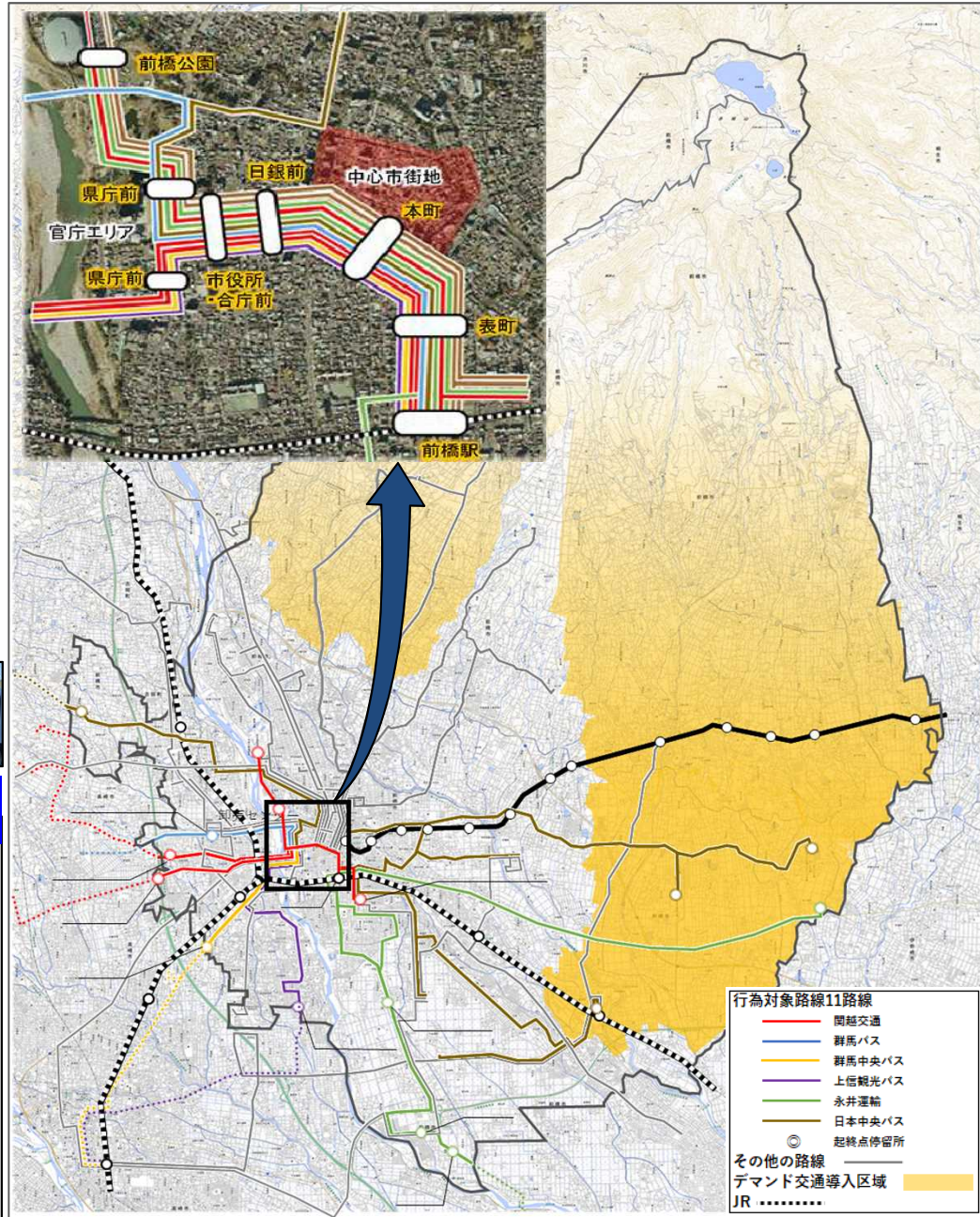
- インフォメーションの改善
(デジタルサイネージ、バスロケ)



各社バラバラだった路線
表記を統一して再整理



本町ライン (前橋駅～県庁前)

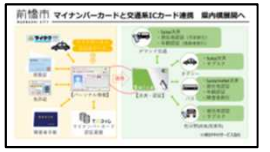


参考：MaeMaaS (前橋版MaaS)

MaeMaaS
マスコットキャラクター



2023年 3月～ **群馬県と連携し、順次、県内全域へ展開**



行為対象路線11路線

- 関越交通
- 群馬バス
- 群馬中央バス
- 上信観光バス
- 永井運輸
- 日本中央バス
- 起終点停留所

その他の路線
デマンド交通導入区域
JR